２０１８年度

大阪府営安威川ダム
国庫補助申請書類
及び説明資料

大阪府

様式7の2

淀川水系安威川　安威川ダム建設工事計画説明表（補助事業）

水系名	淀川（ヨドガワ）	事業主体	大阪府（オオサカフ）	計画の大要	位置	左岸 大阪府茨木市大字生保（オオアザショウホ）および安威（アイ）地先 右岸 大阪府茨木市大字大門寺（オオアザダイモンジ）	ダムサイトの地質
河川名	安威川（アイガワ）				建設の目的	（1）洪水調節　：　ダム地点計画高水流量850㎥/sのうち、690㎥/sの洪水調節を行う。 （2）流水の正常な機能の維持　：　既得用水の補給を行うなど、流水の正常な機能の維持の増進を図る。	花崗閃緑岩 ホルンフェルス（砂岩）
ダム名	安威川ダム（アイガワ）						

安威川ダム

貯水池	流域面積（km²）	湛水面積（km²）	水位（ELm）サーチャージ	常時	夏期	最低水位	利用水深（m）サーチャージ	常時	貯水池容量（1,000m³）総量	有効量	サーチャージ	治水	不特定	堆砂量
	52.2	0.81	125.0	99.4	－	90.2	34.8	9.2	18,000	16,400		14,000	2,400	1,600

治水計画																						
ダム地点	計画高水流量	m³/S 850	調節量	m³/S 690	放流量	m³/S 160	調節方式	自然調節	ダム	型式	高さ（m）	長さ（m）	体積（m³）	越流頂（EL m）	設計洪水位（EL m）	堤長（EL m）	ダム設計洪水流量（m³/s）	越流設備	放流設備
基準地点	相川	安全度 1/100	基本高水流量	m³/S 1,850	計画高水流量	m³/S 1,250	妥当投資額	千円 961,736,000		中央コア型ロックフィル	76.5	337.5	2,225,000	125.0	128.9	131.5	1,300	自由越流形式 71.3m	オリフィス 3.6×3.6 1門

不特定	補給面積	既得水量	維持水量	補償	水没戸数	水没農地	水没市町村名	湛水予定	一部	年月	全部	
	ha 84.3	m³/S 0.458	m³/S 0.35		戸 49	ha 28.18	茨木市・高槻市					H34 年 3 月

総事業費	工程	予備調査	実施計画調査	建設事業				下流河川改修計画	氾らん防止市町村名	氾らん防止面積
千円 135,576,000 ※うち15,946,733千円府単独費（内単）	H28 年度までの出来高 83.1 %	H42 ～ H50	着手 H 51 年度	着工 S 63 年度	竣工 H 33 年度			基幹河川改修	茨木市・高槻市・摂津市 吹田市・大阪市	ha 2,602

事業費年度別（千円）	年度別	H24年度まで	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度まで	H30年度以降	H30年度	備考
	国土交通省公共費	【4,241,816】<12,066,670>(6,974,469)≪100,000≫ 72,837,477	≪30,000≫ 2,946,875	≪30,000≫ 5,028,773	≪30,000≫ 4,357,858	≪30,000≫ 6,230,000	≪30,000≫ 8,030,000	【4,241,816】<12,066,670>(6,974,469)≪250,000≫ 99,430,983	≪95,914≫ 20,198,284	7,000,000	【　】内は住宅関連枠 <　>内は下水関連枠 (　)内は道路関連枠 << >>内はH22以降の事務費 H22以降の事務費を含む

様式7の3

平成30年度　　安威川ダム建設工事年度別内訳及び実施内容

（単位：千円）

項　　目	総事業費金額	平成29年度金額	平成29年度迄金額	平成30年度以降金額	平成30年度金額	平成30年度実施内容
事業費	135,576,000	8,030,000	115,381,085	20,194,915	7,000,000	
工事費	133,905,000	8,000,000	113,844,999	20,060,001	7,000,000	
本工事費	43,550,000	6,848,000	29,041,561	14,508,439	4,747,000	
ダム費	40,604,000	6,848,000	28,131,895	12,472,105	4,742,000	○ 基礎掘削工　ΣC= 200,000 ・ 基礎掘削工　1,780千 m3　C= 200,000 ○ 材料山工　ΣC= 280,000 ・ 材料山掘削工　265,900 m3　C= 280,000 ○ 基礎処理工　ΣC= 120,000 ・ ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄｸﾞﾗｳﾄ　4,964 m　C= 90,000 ・ ｺﾝﾀｸﾄｸﾞﾗｳﾄ　22,233 m　C= 30,000 ○ 堤体工　ΣC= 1,877,000 ・ 堤体盛立　2,225千 m3　C= 1,877,000 ○ 取水放流設備工　ΣC= 880,000 ・ 取水設備制作　1 式　C= 580,000 ・ 取水放流設備据付　1 式　C= 300,000 ○ 監査廊工　ΣC= 130,000 ・ 監査廊　16,500 m3　C= 130,000 ○ 洪水吐工　ΣC= 455,000 ・ 洪水吐　105,200 m3　C= 455,000 ○諸工事　ΣC= 235,000 ・ 堤体観測設備工　1 式　C= 20,000 ・ 土捨場工　1 式　C= 200,000 ・ 堤体取付道路工　1 式　C= 15,000 ○ ダム用仮設備工　ΣC= 565,000 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ製造設備　1 式　C= 310,000 ・ 濁水処理設備　1 式　C= 140,000 ・ 諸設備　1 式　C= 115,000
管理設備費	1,482,000	0	0	1,482,000	5,000	○ 通信警報観測設備　ΣC= 5,000 ・ 電気設備　C= 5,000
仮設備費	1,464,000	0	909,666	554,334	0	
測量設計費	10,190,000	416,000	9,863,933	326,067	333,000	○ 水文調査　ΣC= [redacted] ・ 流量観測　1 式　C= [redacted] ・ 水質観測　1 式　C= [redacted] ○ 環境調査　ΣC= [redacted] ・ ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ調査　1 式　C= [redacted] ○ 業務委託　ΣC= [redacted] ・ 業務委託　1 式　C= [redacted] ○ 設計・検討・試験委託　ΣC= [redacted] ・ グラウト解析　1 式　C= [redacted] ・ 岩盤スケッチ　1 式　C= [redacted] ・ 道路設計　1 式　C= [redacted] ・ 周辺整備設計　1 式　C= [redacted] ・ その他調査（測量等）　1 式　C= [redacted] ・ その他検討（引継等）　1 式　C= [redacted]
用地費及補償費	80,145,000	736,000	74,923,076	5,221,924	1,920,000	
補償費	53,100,000	36,000	52,514,569	585,431	70,000	○ 特殊補償　ΣC= [redacted] ・ 鉄塔移設　1 式　C= [redacted]
補償工事費	27,045,000	700,000	22,408,507	4,636,493	1,850,000	○ 付替市道　ΣC= [redacted] ・ 橋梁上部　1 式　C= [redacted] ・ 橋梁下部　1 式　C= [redacted] ・ 道路工　1 式　C= [redacted] ○ 一般補償　ΣC= [redacted]
船舶及機械器具費	20,000	0	16,429	3,571	0	
（事務費）	1,671,000	≪30,000≫	1,536,086	≪134,914≫	≪≫	

【様式7の4】

安威川ダム事業計画概要図

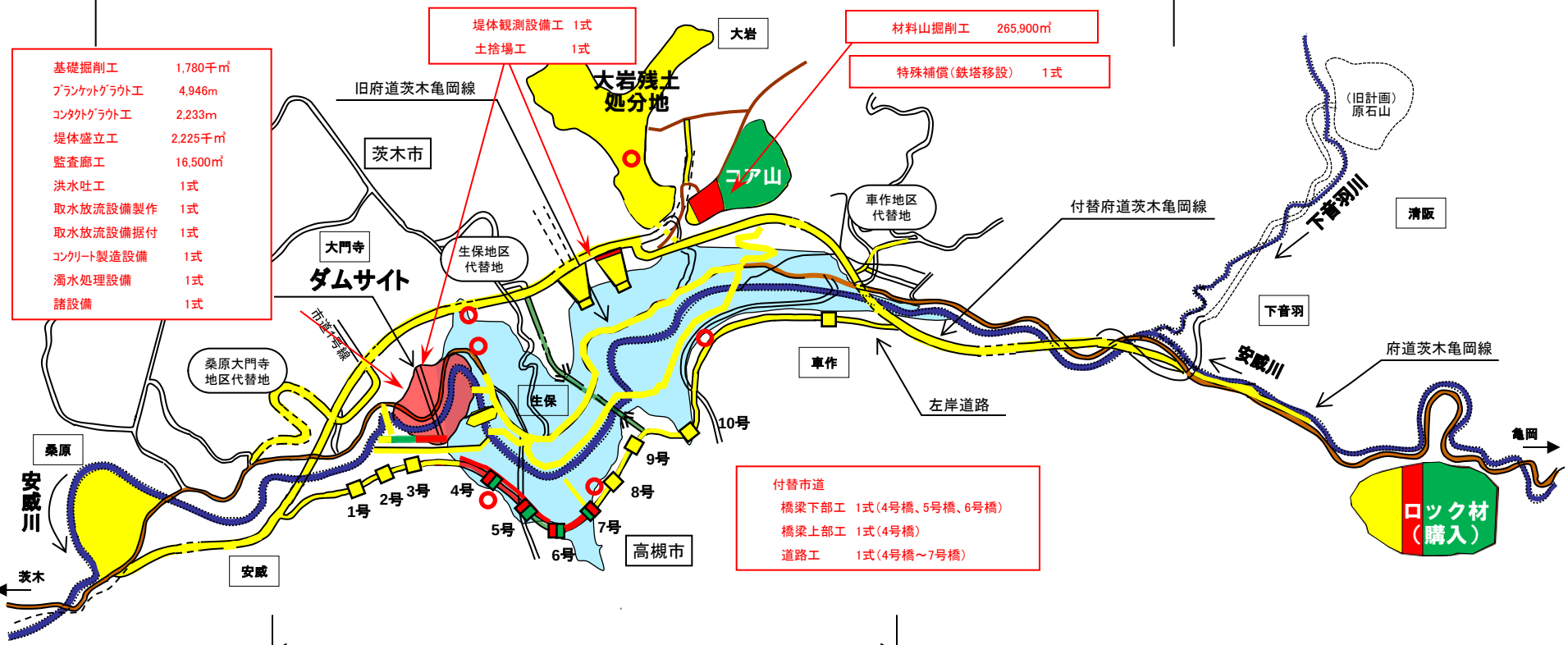
【大阪府】

付替府道茨木亀岡線全線　L＝5.4km（平成22年9月供用開始）

基礎掘削工	1,780千㎥
ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄｸﾞﾗｳﾄ工	4,946m
ｺﾝﾀｸﾄｸﾞﾗｳﾄ工	2,233m
堤体盛立工	2,225千㎥
監査廊工	16,500㎥
洪水吐工	1式
取水放流設備製作	1式
取水放流設備据付	1式
ｺﾝｸﾘｰﾄ製造設備	1式
濁水処理設備	1式
諸設備	1式

堤体観測設備工　1式
土捨場工　1式

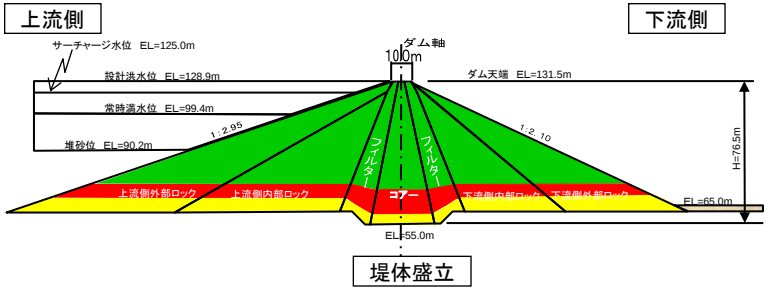
材料山掘削工　265,900㎥
特殊補償（鉄塔移設）　1式



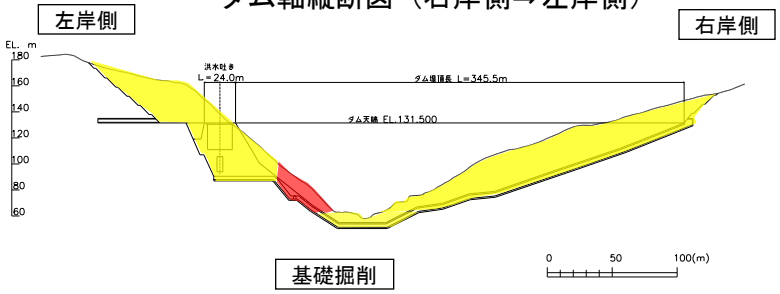
付替市道
- 橋梁下部工　1式（4号橋、5号橋、6号橋）
- 橋梁上部工　1式（4号橋）
- 道路工　1式（4号橋～7号橋）

左岸道路　全体計画　L＝3.3km

ダム標準断面図（上流側⇒下流側）



ダム軸縦断図（右岸側⇒左岸側）



凡　例
- H29年度まで
- H30年度実施
- H31年度以降

様式７の５

用地先行取得国庫債務負担行為内訳表

（単位：千円）

工　種	種　別	細　別	債務負担全体計画		再取得額						摘　要
					平成○○年度まで		平成○○年度以降		平成○○年度		
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
											先行取得年度 ○○年度
安威川ダム　該当なし											
補償費小計											
用地測量費											
直接管理費											
小計											
利子支払額											
合計											

（注）１．工種、種別、細別は実施計画のそれぞれの費目による。
　　２．摘要欄に先行取得年度及び利子支払額の積算根拠を記載すること。

様式７の６

国　庫　債　務　負　担　行　為　内　訳　表

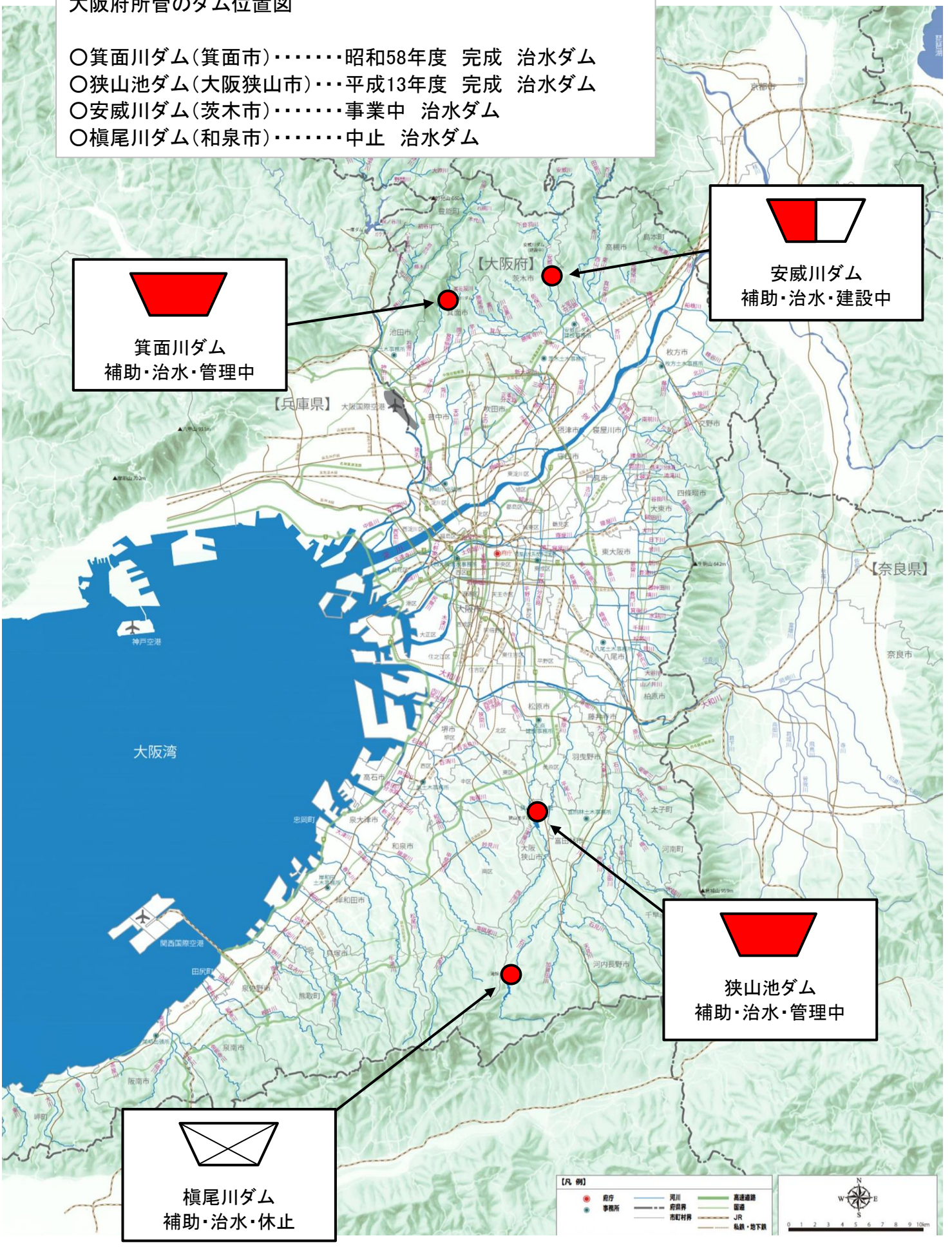
（単位：千円）

工　　種	種　別	細　別	債務負担全体計画		国債として施工及び支出すべき年度別内訳						摘　　要
					平成○○年度		平成○○年度		平成○○年度		
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
安威川ダム　該当なし											
合計 （出来高予定額）											
支払限度額											

（注）１．工種、種別、細別は実施計画のそれぞれの費目によること。
　　２．作成上の注意事項については、別途通知する。

大阪府所管のダム位置図

〇箕面川ダム（箕面市）・・・・・・・昭和58年度　完成　治水ダム
〇狭山池ダム（大阪狭山市）・・・平成13年度　完成　治水ダム
〇安威川ダム（茨木市）・・・・・・・事業中　治水ダム
〇槇尾川ダム（和泉市）・・・・・・・中止　治水ダム



（様式２の６）

平成30年度河川総合開発事業国庫債務負担行為調書

県名　：　　（単位：千円）

事業の名称		債務負担行為の目的及び内容	国庫債務負担行為限度額				年度割				備考
事業名	箇所名		事業費	国庫債務基本額	補助率	国庫債務金額	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
合計			0	0		0	0	0	0	0	

安威川ダム　該当なし

様式－L

平成29年度歳出予算の執行状況【共同費】

（単位：千円）

事業名	平成27年度						平成28年度							平成29年度				
	予算額A 上段：全体 下段：うち補正,流用分	歳出予算現額	不用額	繰越額B 上段：全体 下段：うち補正,流用分	繰越額B うち未契約分	繰越率※ 上段：全体 下段：うち補正,流用分	予算額 上段：全体 下段：うち補正,流用分	歳出予算現額	不用額	繰越額 上段：全体 下段：うち補正,流用分	繰越額 うち未契約分	繰越の主な要因	繰越率 上段：全体 下段：うち補正,流用分	予算額	歳出予算現額	未契約額	繰越見込額	繰越の主な要因
【記載例】																		
○○ダム	1,570,000	2,080,000	0	540,000	20,000	34.4%	2,135,000	2,675,000	0	300,000	0	想定地質との相違に伴う基礎処理工法検討による	14.1%	2,208,000	2,508,000	0	0	
安威川ダム	4,330,000	5,750,000	2,142	0	0	0.0%	6,200,000	6,200,000	104	703,900	0	年度当初から施工していた法面対策について、年度途中に対策対象である法面に湧水が見受けられた。 これにより経過を観察しながら施工を進めることになり、工程に遅延が生じた。	11.4%	8,000,000	8,703,900	0	3,258,000	掘削の進捗にあたり、一部切土法面として不安定な箇所が生じた。 この対応に時間を要したこと、また地質状況への対応として掘削量も増加しており、掘削工程に遅延が生じた。 これにより、当初想定していた盛立工事にも遅れが生じた。 さらに掘削遅延に伴って残土の発生が滞ったことから、土捨て場の整備にも遅延が生じた。

※繰越率 ＝（繰越額B）／（予算額A） × 100

様式ー懸案

道府県・ダム名	27 大阪府	安威川ダム
懸案項目	住民訴訟(1/3)	
懸案内容	「安威川ダム建設事業に関して、一切の公金を支出し、契約を締結し、又は債務その他の義務を負担してはならない」とする訴訟が提起されている。（平成26年2月17日） ○ 原告の主張 1）ダムサイト付近に活断層（馬場断層）があり、かつダムサイトの断層は馬場断層の分岐断層・副断層である。 2）ダムサイトの岩盤は脆弱であり、ダム建設には不適切である。 3）安威川ダムにかかる河川整備計画およびダム検証はダムありきのものであり、裁量権の濫用である。	
対応方針	治水計画、基礎岩盤関係、断層関係に関して原告の求釈明、主張に対して反論を実施している。 平成29年9月11日　第15回口頭弁論期日【被告反論：被告第17準備書面（断層関係）、原告主張：原告準備書面14（治水計画関係）、原告求釈明（基礎岩盤関係（事業評価））】 平成29年11月8日　第16回口頭弁論期日【被告反論：被告第18準備書面（治水関係）、被告釈明：被告第19準備書面（基礎岩盤関係（事業評価）の一部）】 次回　平成30年1月24日　第17回口頭弁論期日【被告釈明：被告第20準備書面（基礎岩盤関係（事業評価）の残り）提出】	
参考	○　経過 平成25年11月25日　原告[redacted]から住民監査請求：主張は訴訟と同様 平成26年　1月20日　住民監査請求棄却 平成26年　2月17日　原告[redacted]らから提訴 平成26年　3月11日　訴状及び第1回口頭弁論期日呼出状及び答弁書催告状が送達 平成26年　5月　9日　第1回口頭弁論期日【被告答弁書提出】 平成26年　7月18日　第2回口頭弁論期日【被告準備書面1：訴状に対する認否　提出】 平成26年10月10日　第3回口頭弁論期日【被告準備書面2：積極的主張　提出】 平成27年　1月23日　第4回口頭弁論期日【原告求釈明　原告準備書面1（地質・設計）、原告準備書面2（治水計画）　】 平成27年　4月24日　第5回口頭弁論期日【被告釈明：原告準備書面1(地質・設計）、原告求釈明：原告準備書面4（地質・設計）】 平成27年　7月13日　準備書面提出期限 平成27年　7月22日　第6回口頭弁論期日【被告釈明：被告準備書面4（原告準備書面1～3）、原告求釈明：原告準備書面4（地質・設計）】 平成27年11月18日　第7回口頭弁論期日【被告求釈明：被告第5準備書面（原告準備書面4）、原告求釈明：原告準備書面5（治水計画）】 平成28年1月15日　進行協議【原告連絡書（地質・設計）、被告口頭説明（一部回答を保留）】 平成28年2月　5日　第8回口頭弁論期日【被告求釈明：被告第6準備書面（原告準備書面5）】 平成28年3月11日　被告準備書面7提出【進行協議（1／15）回答分を書面で提出】 平成28年4月15日　被告準備書面8提出【進行協議（1／15）回答保留分を書面で提出】 平成28年5月16日　第9回口頭弁論期日【原告求釈明：原告第6準備書面（治水計画）】 平成28年7月15日　第10回口頭弁論期日【被告求釈明：被告第9準備書面（原告準備書面6）、原告求釈明：原告準備書面7（断層関係）】 平成28年9月16日　第11回口頭弁論期日【被告求釈明：被告第10準備書面（原告準備書面7）、原告主張：原告準備書面8（基礎岩盤関係）】 平成28年12月19日　第12回口頭弁論期日【被告反論：被告第11準備書面（原告準備書面8）、原告主張・求釈明：原告準備書面9（治水計画）、 平成29年3月8日　第13回口頭弁論期日【被告反論・求釈明：被告第12準備書面（原告準備書面9）、被告第13準備書面（原告準備書面10）準備書面（治水計画）・被告求釈明（断層関係）：被告準備書面、原告主張：原告準備書面11（基礎岩盤関係）、原告準備書面12（治水計画）】 平成29年6月12日　第14回口頭弁論期日【被告反論：被告第14準備書面（基礎岩盤関係）・被告反論：被告第15準備書面（治水計画関係）・期日後追加被告求釈明：被告第16準備書面（治水計画関係）、原告反論：原告13準備書面（断層関係）】 平成29年9月11日　第15回口頭弁論期日【被告反論：被告第17準備書面（断層関係）、原告主張：原告準備書面14（治水計画関係）、原告求釈明（基礎岩盤関係（事業評価））】 平成29年11月8日　第16回口頭弁論期日【被告反論：被告第18準備書面（治水関係）、被告釈明：被告第19準備書面（基礎岩盤関係（事業評価）の一部）】 次回　平成30年1月24日　第17回口頭弁論期日【被告釈明：被告第20準備書面（基礎岩盤関係（事業評価）の残り）提出】	

様式ー懸案

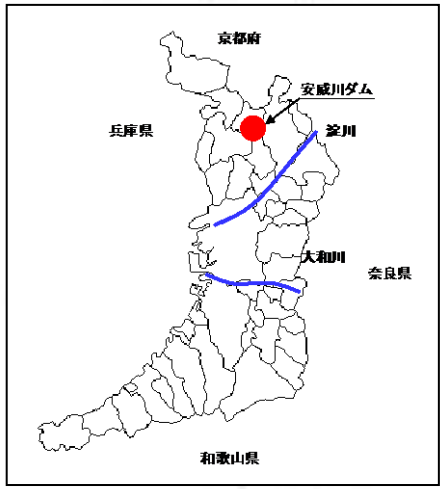
道府県・ダム名	27 大阪府	安威川ダム
懸案項目	住民訴訟(2/3)	
懸案内容	府は、安威川ダム建設事業に必要な土地について、公共用地境界を確定するとともに、当該土地の面積を測量の結果、その面積は、公簿上は462㎡であるものの、実測では868．62㎡であることが判明した。その後、当該土地の買収のために、原告[redacted]を除く本件共有者に対して実測面積に基づく補償を行った。 ○原告の主張 原告は、当該土地の面積が公簿面積より特に多いとは考えられず、測量及びこれに基づく本件補償は職員及び関係者の背任的不法行為であり、補償先に不当利得を与えるものとなると主張。 補償当時の所長、補償当時の府知事に対して、公募面積で算定した補償金額と買収面積で算定した補償金額の差額うち、[redacted]を除く共有者に支払った17,975,261円の請求、[redacted]を除く共有者に対して不当利得額に応じた金員の請求を大阪府知事に求めるとして、訴訟を提訴したもの。	
対応方針	用地買収（面積算定）に関して、原告の主張に対して反論を実施していく。 平成29年12月7日　弁論準備期日【被告準備書面5】 次回、平成30年2月6日　口頭弁論期日【原告反論（予定）】	
参考	○　経過 平成28年2月1日　原告から住民監査請求：主張は訴訟と同様 平成28年2月26日　住民監査請求棄却 平成28年3月25日　原告から提訴 平成28年4月18日　訴状及び第1回口頭弁論期日呼出状及び答弁書催告状が送達 平成28年5月25日　第1回口頭弁論期日【訴状、原告準備書面1、被告答弁書】 平成28年7月20日　第2回口頭弁論期日【被告準備書面1、被告上申書】 平成28年10月3日　第3回口頭弁論期日【原告準備書面2、被告上申書】 平成28年11月14日　第4回口頭弁論期日【原告準備書面3】 平成29年1月30日　第5回口頭弁論期日【原告準備書面4】 平成29年4月24日　第6回口頭弁論期日【被告準備書面2】 平成29年6月14日　弁論準備期日【原告準備書面5】 平成29年8月7日　弁論準備期日【被告準備書面3】 平成29年10月11日　弁論準備期日【被告準備書面4、原告準備書面6】 平成29年12月7日　弁論準備期日【被告準備書面5】 次回、平成30年2月6日　口頭弁論期日【原告反論（予定）】	

様式ー懸案

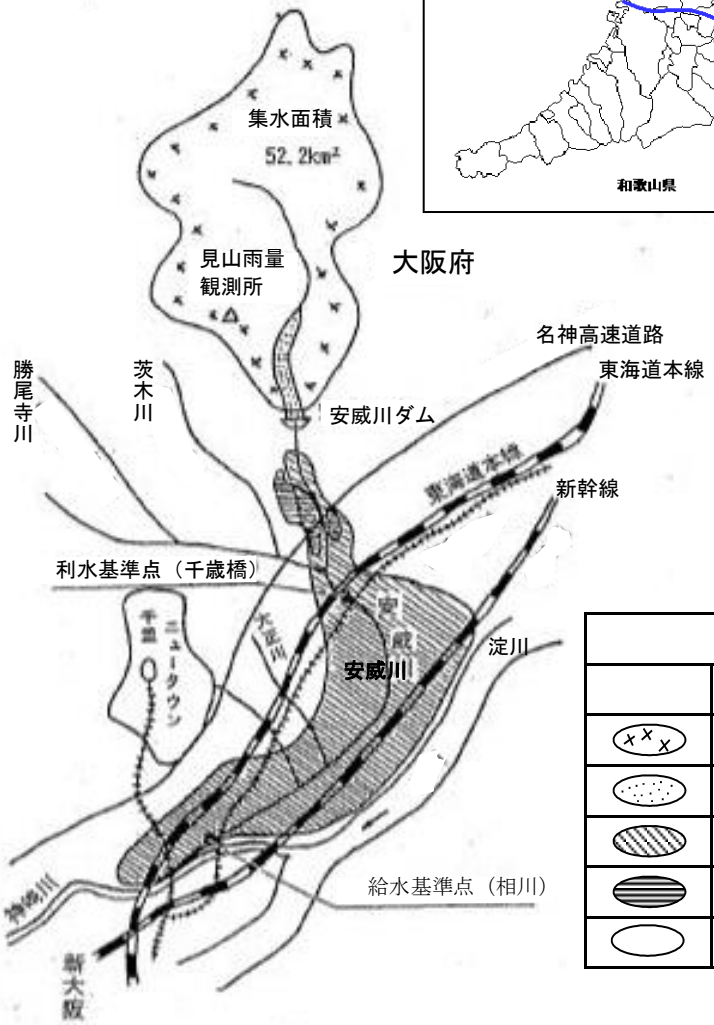
道府県・ダム名	27 大阪府	安威川ダム
懸案項目	住民訴訟(3/3)	
懸案内容	土地収用補償金請求事件に対する損失補償に関する訴訟 〇原告の主張 1　収用裁決は違法不当（3点の問題がある） （1）収用委員会が依頼した鑑定人は、府と通謀して著しく低い誤った評価をした。 （2）原告以外の共有者らに対する買収価格の2分の1以下の低価であること。 （3）原告の実質買収地の価格の不当評価 2　収用裁決された土地を利用できなかった損失 ・府の工事のため収用対象地の利用が出来なかった損失	
対応方針	用地買収（収用裁決に係る評価額等）に関して、原告の主張に対して反論を実施していく。 平成30年1月17日　第3回口頭弁論期日【原告準備書面4】 次回、平成30年2月16日　第4回口頭弁論期日【被告反論（予定）】	
参考	〇　経過 平成26年6月4日　事業認定告示 平成26年10月30日　収用裁決申請 平成28年2月23日　収用裁決 平成28年7月8日　原告から提訴 平成28年8月26日　第1回口頭弁論期日　※原告側より、（本裁判に関連した）収用裁決に係る審査請求を国土交通大臣あてに行っており、その結果が出てから、本裁判を進めたいとの提案があった。 平成28年11月28日　期日【進行協議】 平成29年3月6日　期日【進行協議】 平成29年6月5日　期日【進行協議】 平成29年8月7日　期日【弁論準備　原告準備書面1】 平成29年9月20日　期日【弁論準備　原告準備書面2】 平成29年11月8日　第2回口頭弁論期日【被告準備書面1、原告準備書面3】 平成30年1月17日　第3回口頭弁論期日【原告準備書面4】 ※別途、収用裁決に係る審査請求の結果がH29．3．31付で出たことを受け、国他を相手に取消訴訟が提起（H29．9．7）され、平成30年1月17日の口頭弁論において弁論終結（判決日は追って連絡）。 次回、平成30年2月16日　第4回口頭弁論期日【被告反論（予定）】	

安威川　安威川ダム建設工事計画説明図（大阪府）

位　置　図

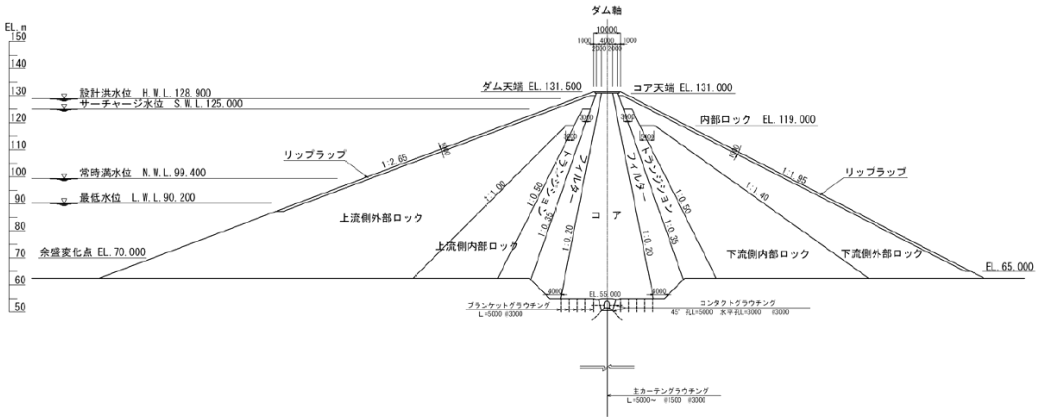


流 域 一 覧 図

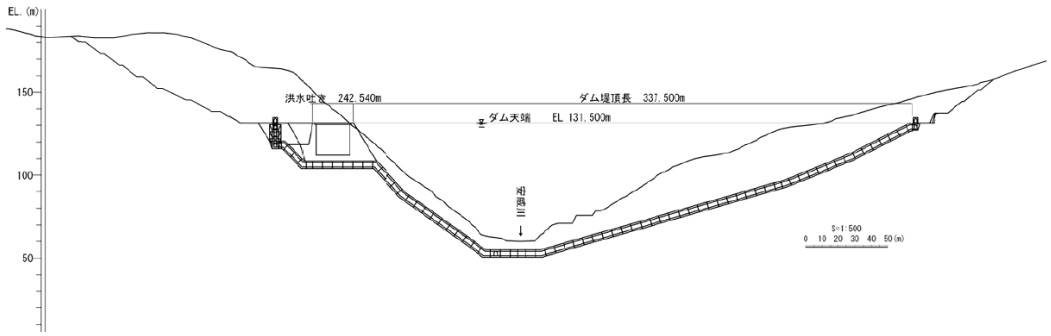


凡　例	
	ダムサイト
	集水区域
	湛水区域
	洪水氾濫防止区域
	不特定用水補給区域
	都市用水給水区域

標準断面図



堤体下流面図



様式７の３（詳細）

平成30年度　安威川ダム建設工事年度別内訳及び実施内容（詳細版）

27　大阪府

目細	費目	工種	総事業費 金額	平成29年度 金額	平成29年度 まで金額	平成30年度 以降金額	平成30年度 金額	整理番号	項目	数量	金額（千円） 債務義務額	義務的経費	その他金額	債務額又は年割り額（百万円） 取得年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	備考	優先順位
工事費			133,905,000	8,000,000	113,844,999	20,060,001	7,000,000															
	本工事費		43,550,000	6,848,000	29,027,561	14,522,439	4,747,000															
		ダム費	40,604,000	6,848,000	28,067,895	12,536,105	4,742,000		基礎掘削工		200,000											1
									基礎掘削	1,780,000 m3	110,000			H25	892	110				736		
									仕上掘削	26,500 m2	45,000			H25	27	45	100	100	15	50		
									岩盤清掃	22,500 m2	45,000			H25	27	45	100	100	15	50		
									法面保護	4,219 m2				H25	800					264		
									材料山工		280,000											1
									材料山掘削	265,900 m3	200,000			H25	250	200	161	100		102		
									法面保護	6,422 m2	80,000			H25	88	80	220	270		83		
									基礎処理工		120,000											1
									ｶｰﾃﾝｸﾞﾗｳﾄ	7,088 m	0			H25		0	130	130	130	286		
									ｺﾝｿﾘﾃﾞｰｼﾝｸﾞﾗｳﾄ	3,085 m	0			H25	62	0				64		
									ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄｸﾞﾗｳﾄ	4,964 m	90,000			H25	91	90	13	12	26	172		
									ｺﾝﾀｸﾄｸﾞﾗｳﾄ	2,233 m	30,000			H25	15	30	13	12	23	68		
									堤体工		1,877,000											1
									堤体盛立	2,225,000 m3	1,877,000			H25	1550	1877	3260	3972	3007	3197		
									監査廊工		130,000											1
									監査廊	16,500 m3	130,000			H25	219	130	80	80		71		
									洪水吐工		455,000											1
										105,200 m3	455,000			H25	1488	455	245	30		264		
									閉塞工		0											2
									場外排水路	1 式				H25					250	28		
									調査横坑	1 式	0			H28	49	0				18		
									諸工事		235,000											1
									堤体変位計	109 基	12,000			H25		12	25	23	6	7		
									間隙水圧計	54 基	8,000			H25		8	22	22	4	6		
									残土処理	1 式	200,000			H25	230	200	333	370	450	335		
									堤体取付道路	1 式	15,000			H25	25	15	45	35	60	25		
									天端橋梁	1 式				H25				22		2		
									下流河川取付工	1 式				H25					332	37		
									試験湛水用ゲート	1 式				H25				32	300	37		
									小規模発電施設	1 式				H31			0	90	200	32		
									取水放流設備工		880,000											1
									取水放流設備制作	1 式	300,000			H28	160	300	100			73		
									取水放流設備据付	1 式	580,000			H25	200	580	530	400	600	272		
									ダム用仮設備費		565,000											1
									ｺﾝｸﾘｰﾄ製造設備	1 式	310,000			H25	310	310	255	155	355	185		
									電力設備	1 式	60,000			H25	105	60	75	75	75	48		
									給水設備	1 式	55,000			H25	90	55	55	55	55	38		
									濁水処理設備	1 式	140,000			H25	170	140	126	126	226	120		
		管理設備費	1,482,000	0	50,000	1,432,000	5,000		管理用建物													
									管理用建物	1 式				H32								
									通信用管理設備			5,000										2
									通信設備	1 式				H32								
									電気設備	1 式		5,000		H31		5						
		仮設備	1,464,000	0	909,666	554,334	0		工事用道路工													
									道路工	1 式												

様式７の３（詳細）

平成30年度　安威川ダム建設工事年度別内訳及び実施内容（詳細版）

27　大阪府

目細	費目	工種	総事業費金額	平成29年度金額	平成29年度まで金額	平成30年度以降金額	平成30年度金額	整理番号	項目	数量	金額（千円）債務義務額	義務的経費	その他金額	債務額又は年割り額（百万円）取得年度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	備考	優先順位
	測量設計費		10,190,000	416,000	9,910,933	279,067	333,000															
							333,000		水文調査													
									流量調査	1 式				H30	10							1
									水質調査	1 式				H30	5							1
									環境調査													
									モニタリング調査	1 式				H30	60						ｵｵｻﾝｼｮｳｳｵ、猛禽類	1
									設計・検討・試験委託													
									グラウト解析	1 式				H30	49							1
									岩盤スケッチ	1 式				H30	154							1
									その他検討（引継等）	1 式				H30								1
									周辺整備設計	1 式				H30	20							2
									その他調査（測量等）	1 式				H30	28						明示等	1
									道路設計(詳細)	1 式				H30								1
									業務委託													
									業務委託	1 式				H29	60						現場監理業務	1
	用地費及補償費		80,145,000	736,000	74,890,076	5,254,924	1,920,000															
		補償費	53,100,000	36,000	52,598,569	501,431	70,000		一般補償													
									用地取得	1 式					36							
									特殊補償													
									鉄塔移設	式				H27	0						北大阪線8号	1
									鉄塔移設	式				H27	0						北大阪線6号	1
									鉄塔移設	式				H28	0						大岩線	1
		補償工事費	27,045,000	700,000	22,291,507	4,753,493	1,850,000		付替市道													1
									橋梁下部工	1 式				H28	229						4号橋	
									橋梁下部工	1 式				H29	10						5号橋	
									橋梁下部工	1 式				H29	190						7号橋	
									橋梁下部工	1 式				H29	0						6号橋	
									道路工	1 式				H29	166						4号～5号区間	
									道路工	1 式				H29	49						6号～7号区間	
									橋梁上部工	1 式				H30							4号橋	
									橋梁上部工	1 式				H31							5号橋	
									橋梁上部工	1 式				H32							6号橋	
									橋梁上部工	1 式				H31							7号橋	
									道路工	1 式				H32							仮橋撤去等	
									道路工	1 式				H29	0						大岩本線	
									一般補償	1 式				H29	56						上面整備	
	船舶及機械器具費		20,000	0	16,429	3,571	0		輸送車													
（事務費）			《1,671,000》	《30,000》	《1,536,086》	《134,914》	《30,000》							債務額又は年割り額（百万円）	H29	H30	H31	H32	H33	H34	備　考	
合　計			135,576,000	8,030,000	115,381,085	20,194,915	7,030,000		小　計（事務費除き）		債務義務額	義務的経費	その他金額	工事債務	7970	7000	5888	6211	6129	6670		
											6,370,000	279,000	351,000	用地国債								
									合　計（事務費除き）		7,000,000			合計	7970	7000	5888	6211	6129	6670		

【様式7の4】

安威川ダム事業計画概要図

【大阪府】

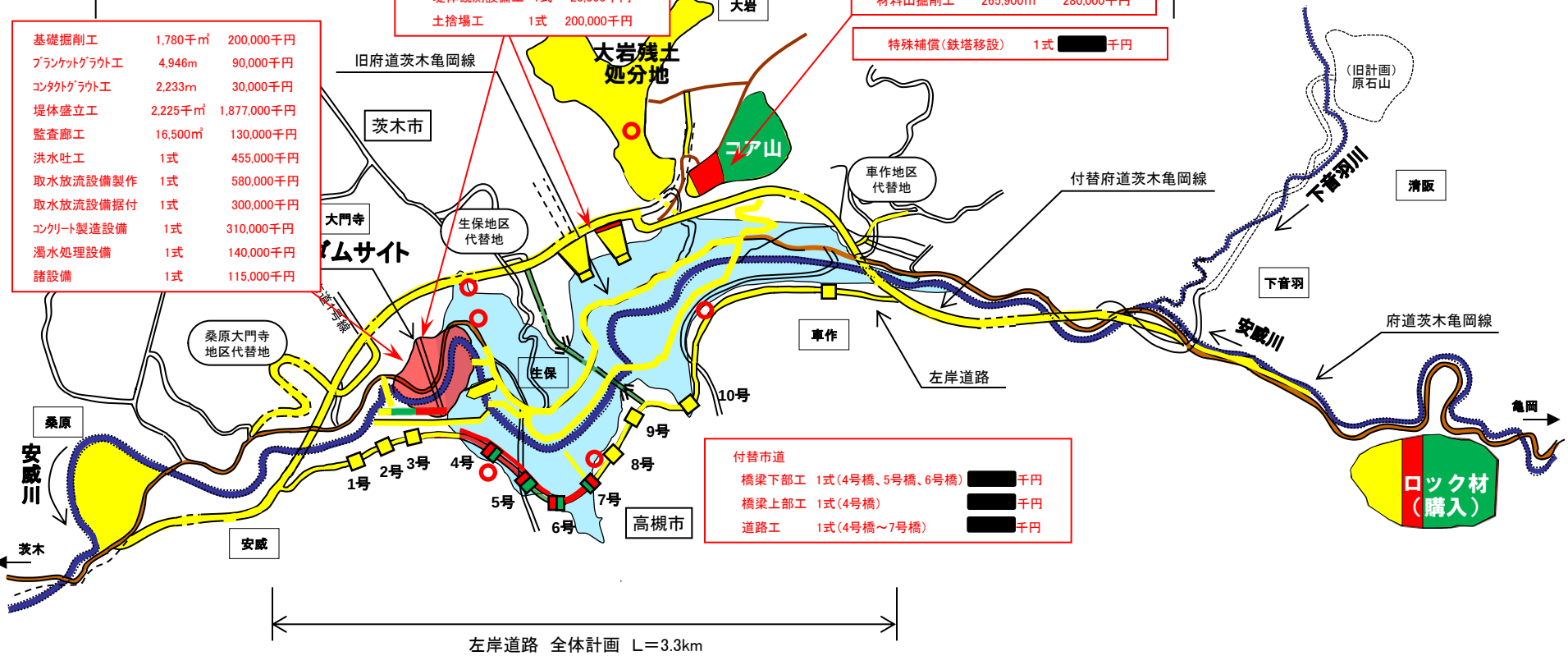
付替府道茨木亀岡線全線　L＝5.4km（平成22年9月供用開始）

基礎掘削工	1,780千㎥	200,000千円
ﾌﾟﾗﾝｹｯﾄｸﾞﾗｳﾄ工	4,946m	90,000千円
ｺﾝﾀｸﾄｸﾞﾗｳﾄ工	2,233m	30,000千円
堤体盛立工	2,225千㎥	1,877,000千円
監査廊工	16,500㎥	130,000千円
洪水吐工	1式	455,000千円
取水放流設備製作	1式	580,000千円
取水放流設備据付	1式	300,000千円
ｺﾝｸﾘｰﾄ製造設備	1式	310,000千円
濁水処理設備	1式	140,000千円
諸設備	1式	115,000千円

堤体観測設備工	1式	20,000千円
土捨場工	1式	200,000千円

材料山掘削工	265,900㎥	280,000千円

特殊補償（鉄塔移設）　1式 [redacted] 千円

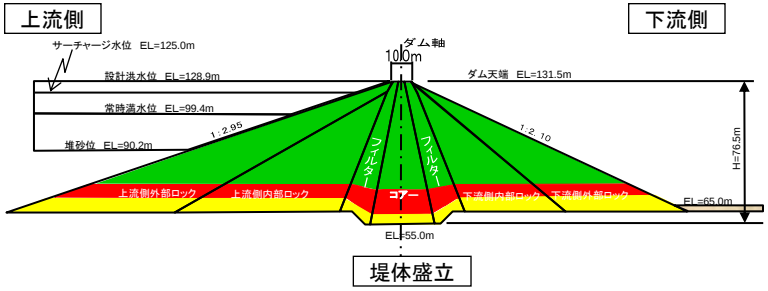


付替市道

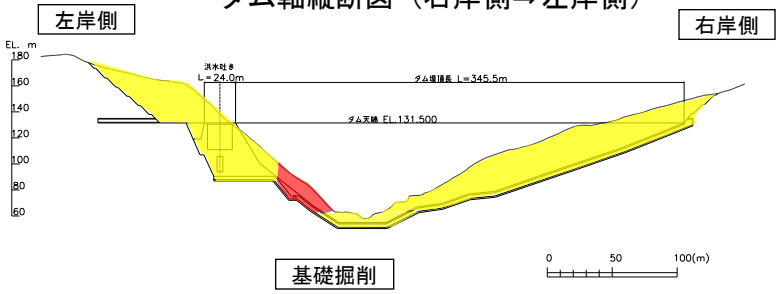
橋梁下部工	1式（4号橋、5号橋、6号橋）	[redacted] 千円
橋梁上部工	1式（4号橋）	[redacted] 千円
道路工	1式（4号橋～7号橋）	[redacted] 千円

左岸道路　全体計画　L＝3.3km

ダム標準断面図（上流側⇒下流側）



ダム軸縦断図（右岸側⇒左岸側）

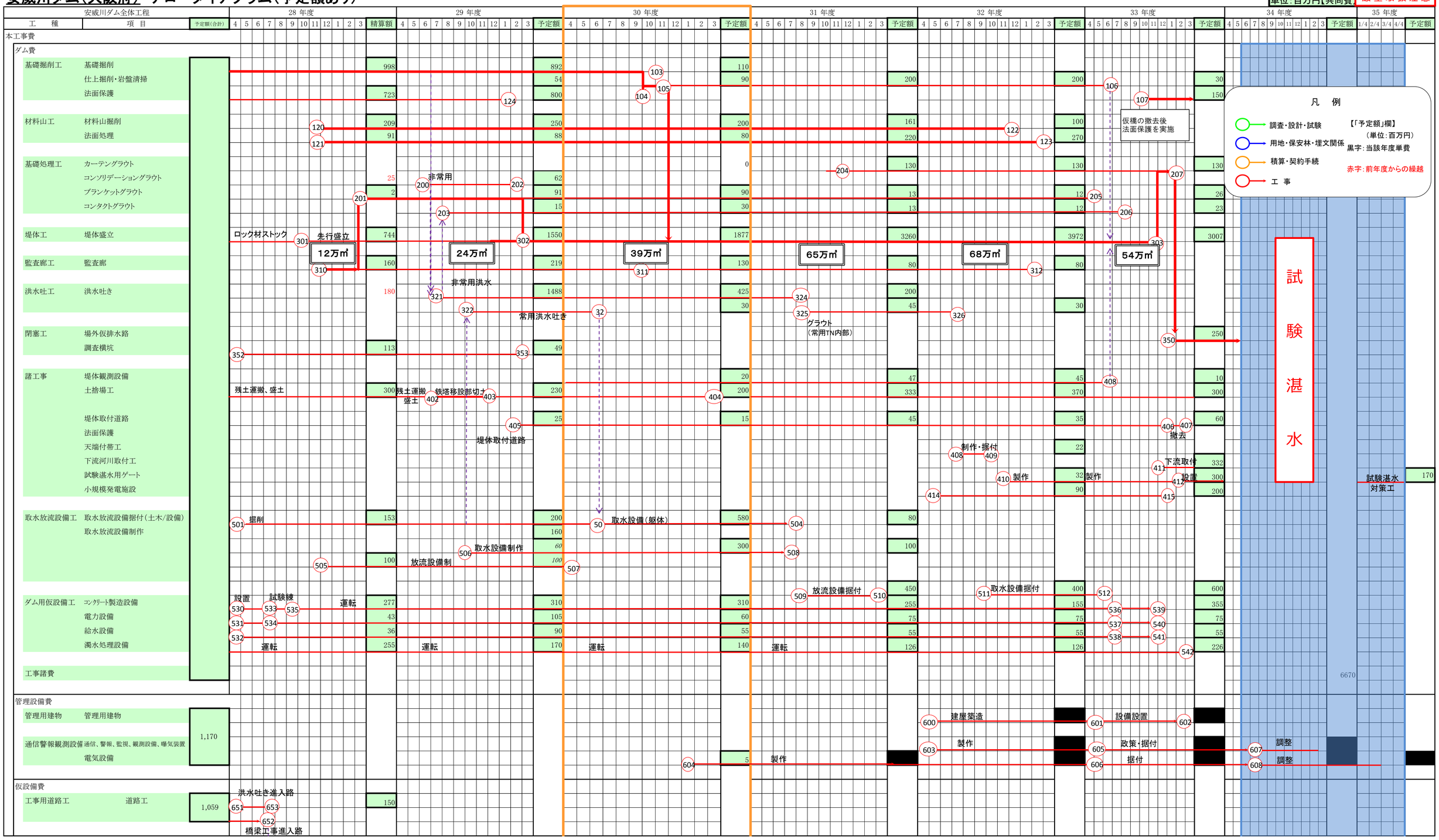


凡　例

- H29年度まで
- H30年度実施
- H31年度以降

安威川ダム（大阪府） アローダイアグラム（予定額あり）

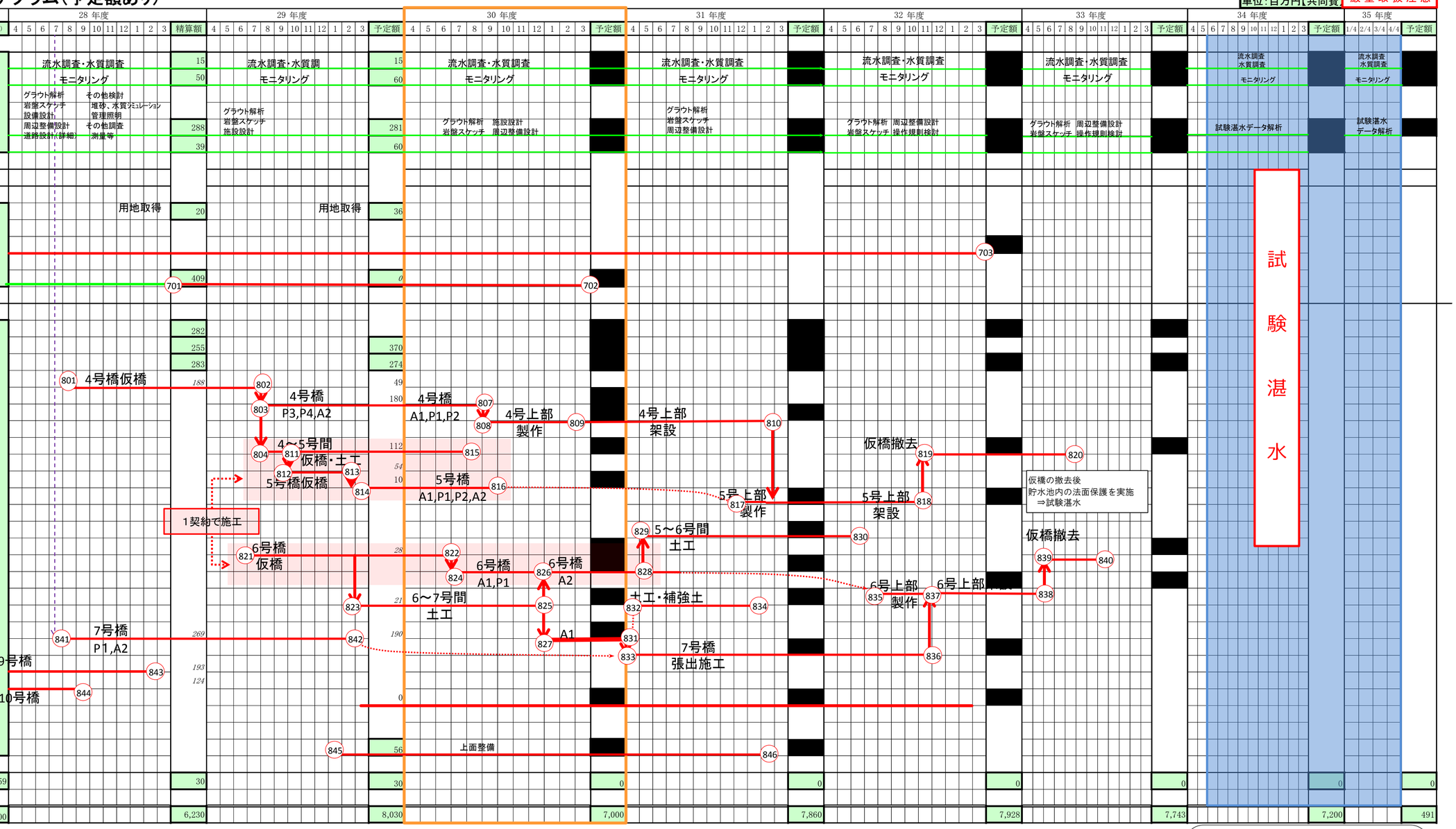
単位：百万円【共同費】 厳重取扱注意



安威川ダム（大阪府） アローダイアグラム（予定額あり）

単位：百万円【共同費】　厳重取扱注意

安威川ダム全体工程 工種	項目	予定額（合計）	28年度 精算額	29年度 予定額	30年度 予定額	31年度 予定額	32年度 予定額	33年度 予定額	34年度 予定額	35年度 予定額
測量設計費										
水文調査		10,190	15	15						
環境調査			50	60						
設計・検討・試験委託			288	281						
業務委託			39	60						
用地費及補償費										
補償費										
一般補償			20	36						
特殊補償	鉄塔移設	52,957								
	北大阪線（8号鉄塔）									
	大岩線（No.3～No.7）		409	0						
補償工事費										
付替市道（左岸道路）	橋梁上部工	24,292	282							
	橋梁下部工		255	370						
	道路工		283	274						
付替市道（大岩本線 道路工										
一般補償										
船舶及機械器具費、事務費		1,659	30	30		0	0	0	0	0
合計額		153,600	6,230	8,030		7,000	7,860	7,928	7,743	7,200	491

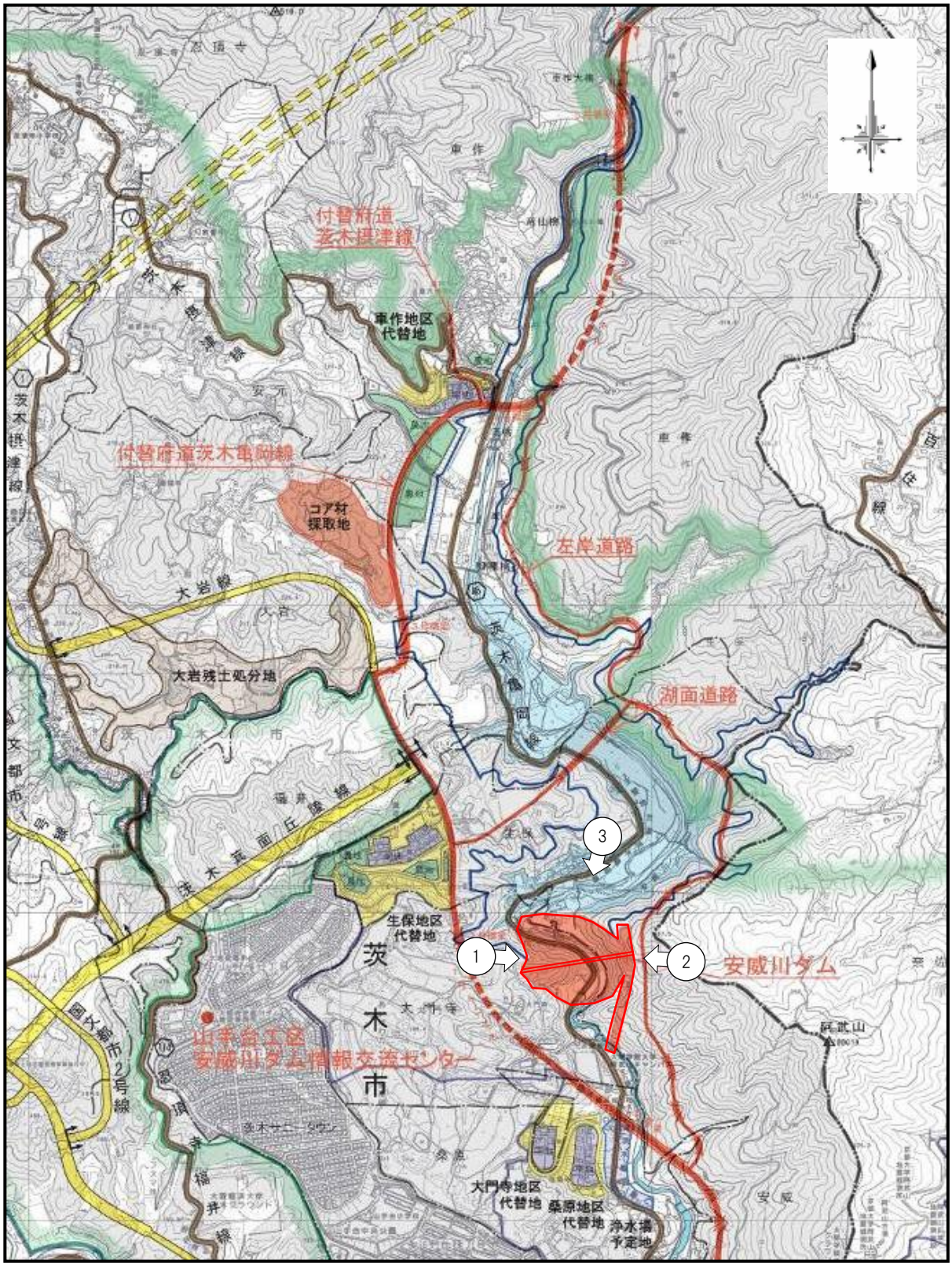


凡例

- 調査・設計・試験
- 用地・保安林・埋文関係
- 積算・契約手続
- 工事

【「予定額」欄】
（単位：百万円）
黒字：当該年度単費
赤字：前年度からの繰越

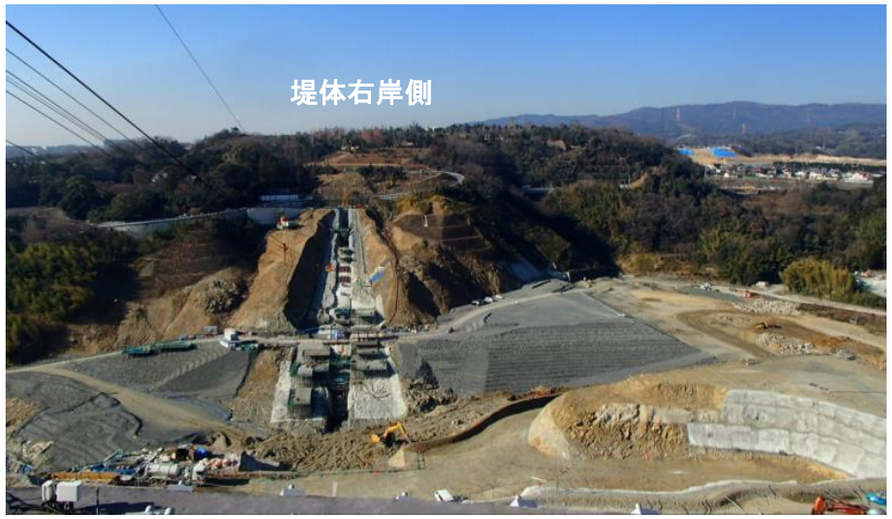
本体工撮影箇所図


付替府道
茨木摂津線
車作地区
代替地
付替府道茨木亀岡線
コア材
採取地
左岸道路
大岩残土処分地
湖面道路
3
生保地区
代替地
1
2
安威川ダム
茨
木
市
山手台工区
安威川ダム情報交流センター
大門寺地区
代替地
桑原地区
代替地
浄水場
予定地

27 大阪府　安威川ダム　　本体工

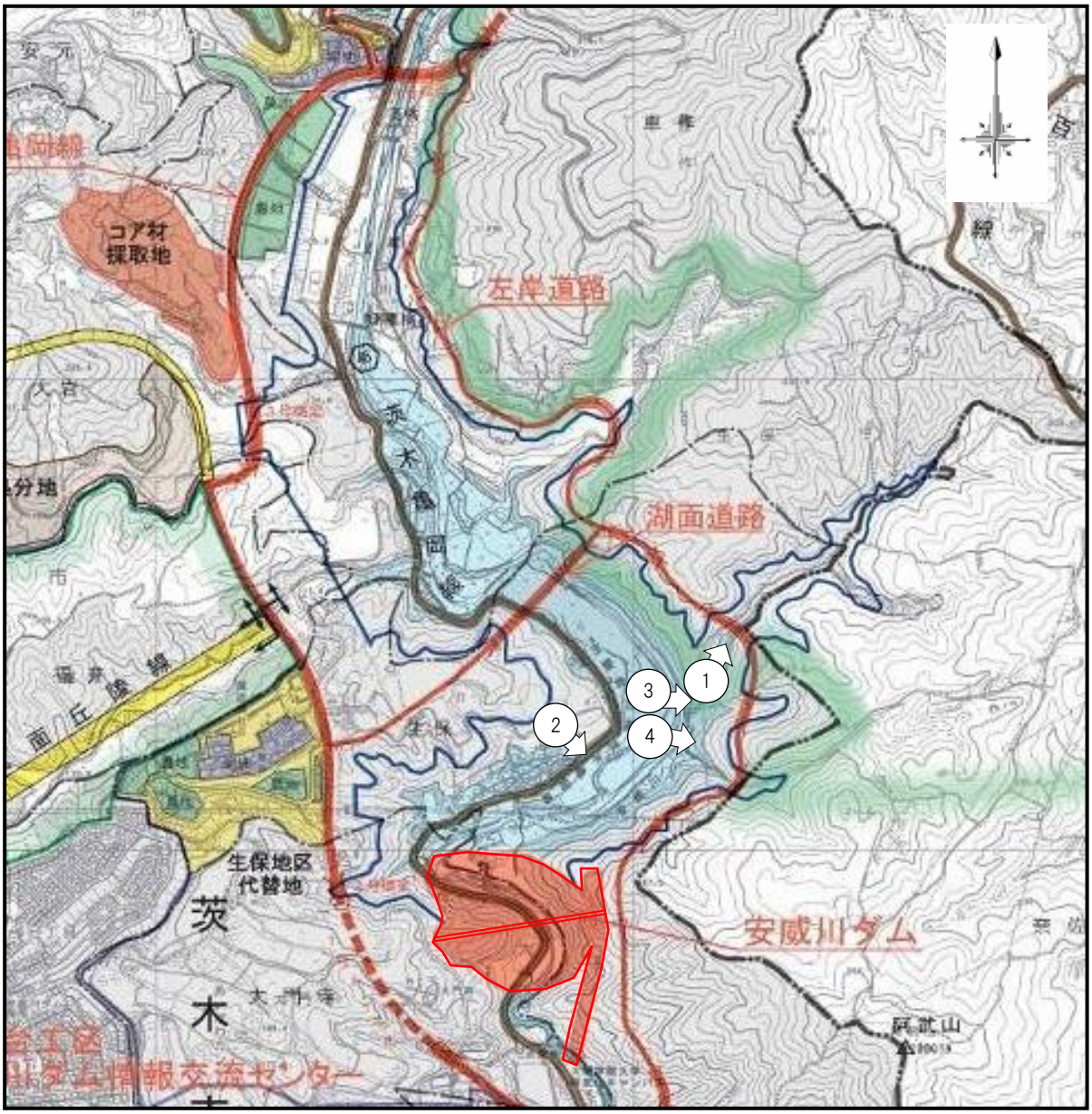
① 施工箇所（基礎掘削状況：右岸側より）

② 施工箇所（基礎掘削状況：左岸側より）



③ 施工箇所（ダムサイト；上流側より）

左岸道路 撮影箇所図



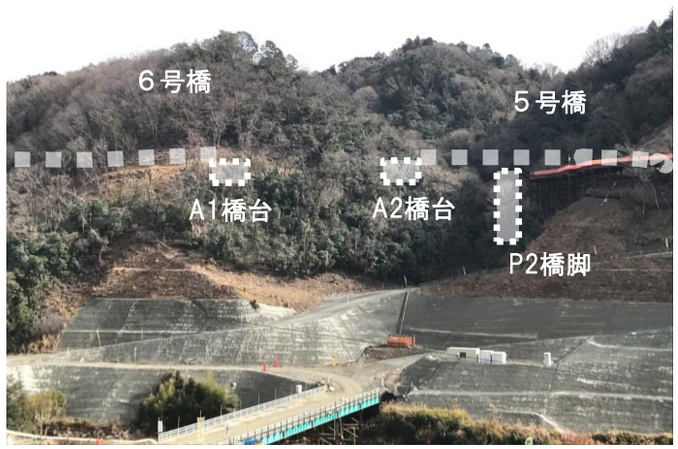
27 大阪府　安威川ダム　　左岸道路

① H29施工箇所　7号橋(P1橋脚)

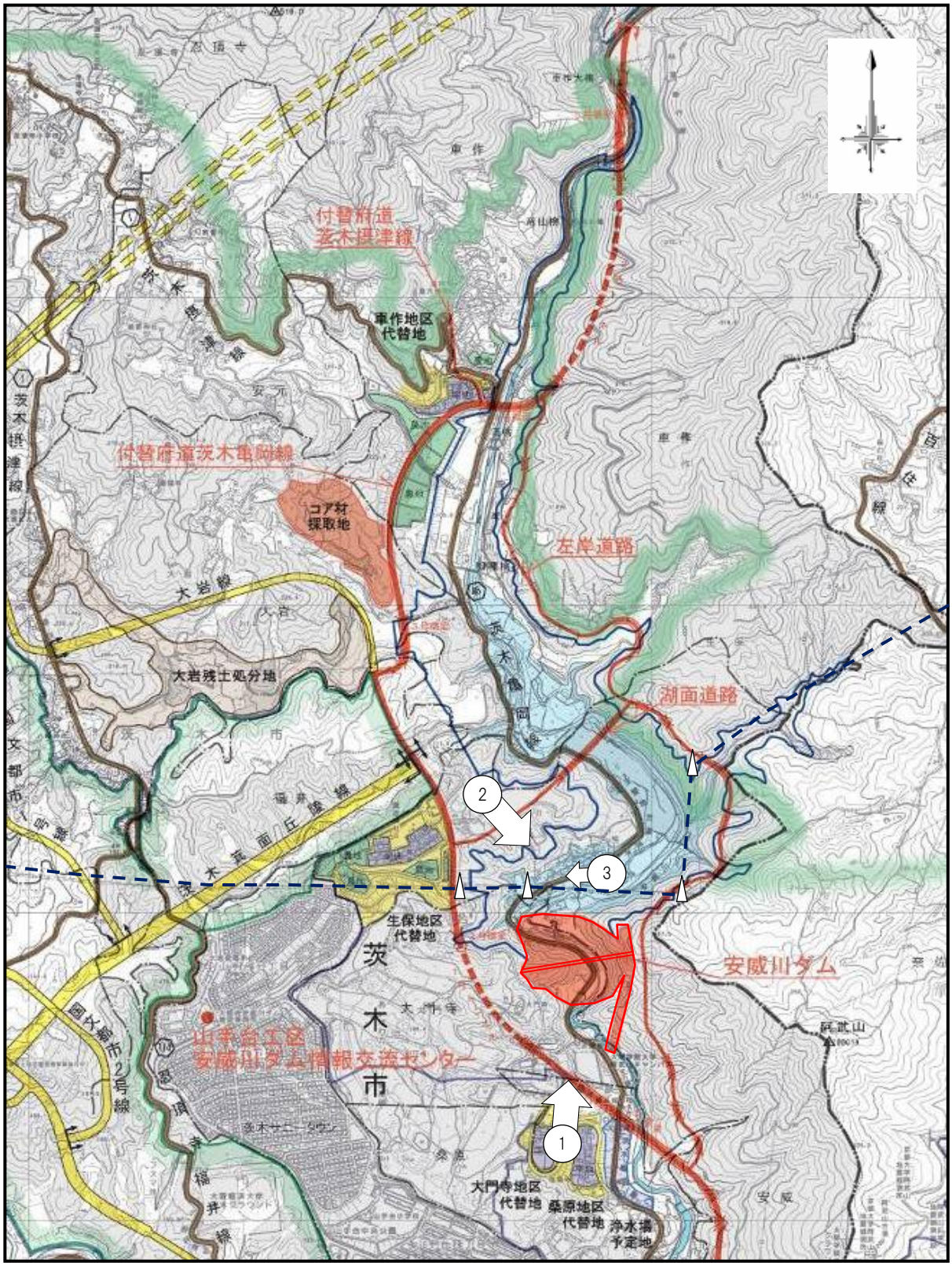
② H29施工箇所　4号橋仮橋

③ H30実施予定箇所　6号橋

④ H30実施予定箇所　5号橋～6号橋



特殊補償 撮影箇所図

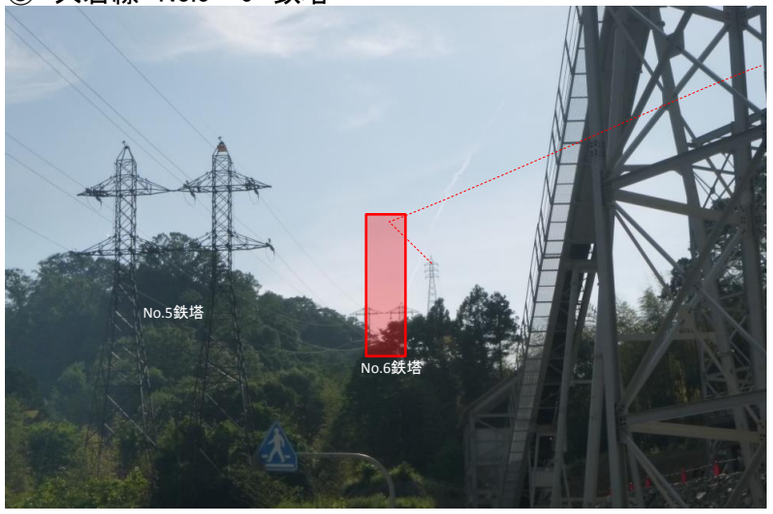

付替府道
茨木摂津線
車作地区
代替地
付替府道茨木亀岡線
コア材
採取地
左岸道路
大岩線
大岩残土処分地
湖面道路
2
3
生保地区
代替地
茨
木
市
安威川ダム
阿武山
山手台工区
安威川ダム情報交流センター
1
大門寺地区
代替地
桑原地区
代替地
浄水場
予定地

27大阪府　安威川ダム　　特殊補償(鉄塔移設)

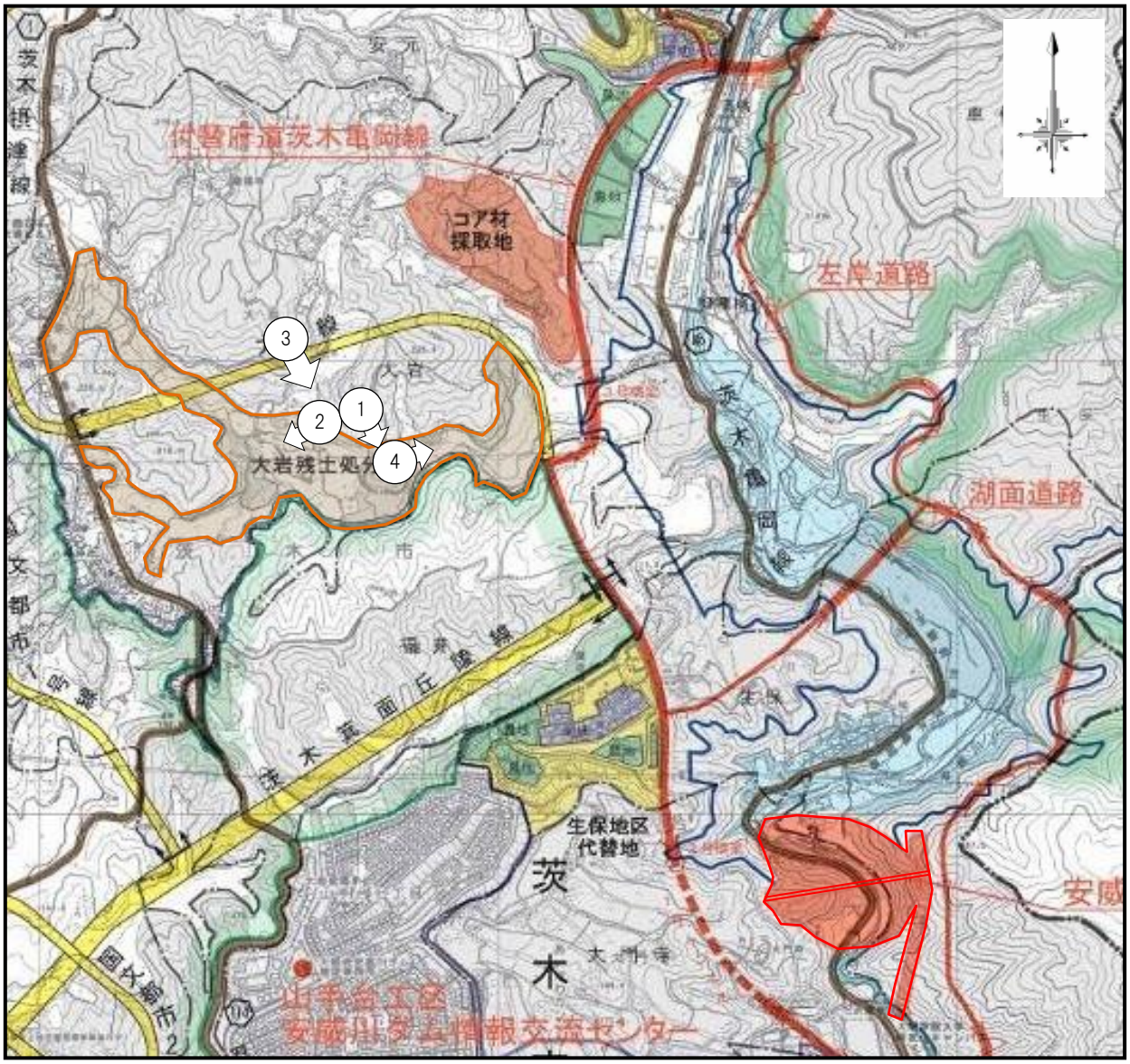
① 大岩線　No.3～6　鉄塔

② 大岩線　No.3～5　鉄塔

③ 大岩線　No.5～6　鉄塔



残土処分地 撮影箇所図


茨木摂津線
安元
国道茨木亀岡線
コア材
採取地
左岸道路
3
2
1
4
大岩残土処分
大宮
茨木亀岡線
湖面道路
茨木
市
文都市
吹田
福井線
茨木箕面丘陵線
生保地区
代替地
茨
木
大正寺
国大阪市2
山手台工区
安威川多目的遊水地
安威

27 大阪府　安威川ダム　残土処分地

① H29施工実績　土捨場工

② H29施工実績　上面整

全景

③ H30実施予定箇所　土捨場

④ H30施工実績　上面整

27大阪府　安威川ダム　　自然環境調査

アジメドジョウ ①

オオタカ ②

オオサンショウウオ ③

カワガラス ④

フクロウ ⑤

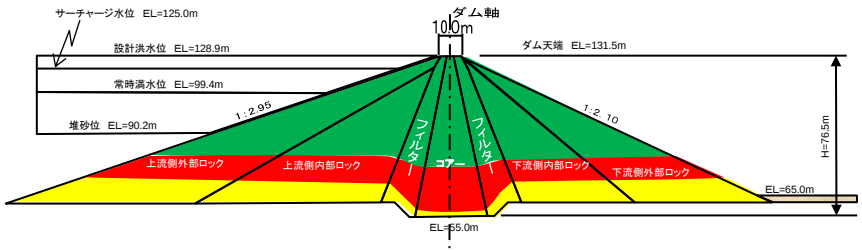
ムギツク ⑥

ヤマセミ ⑦

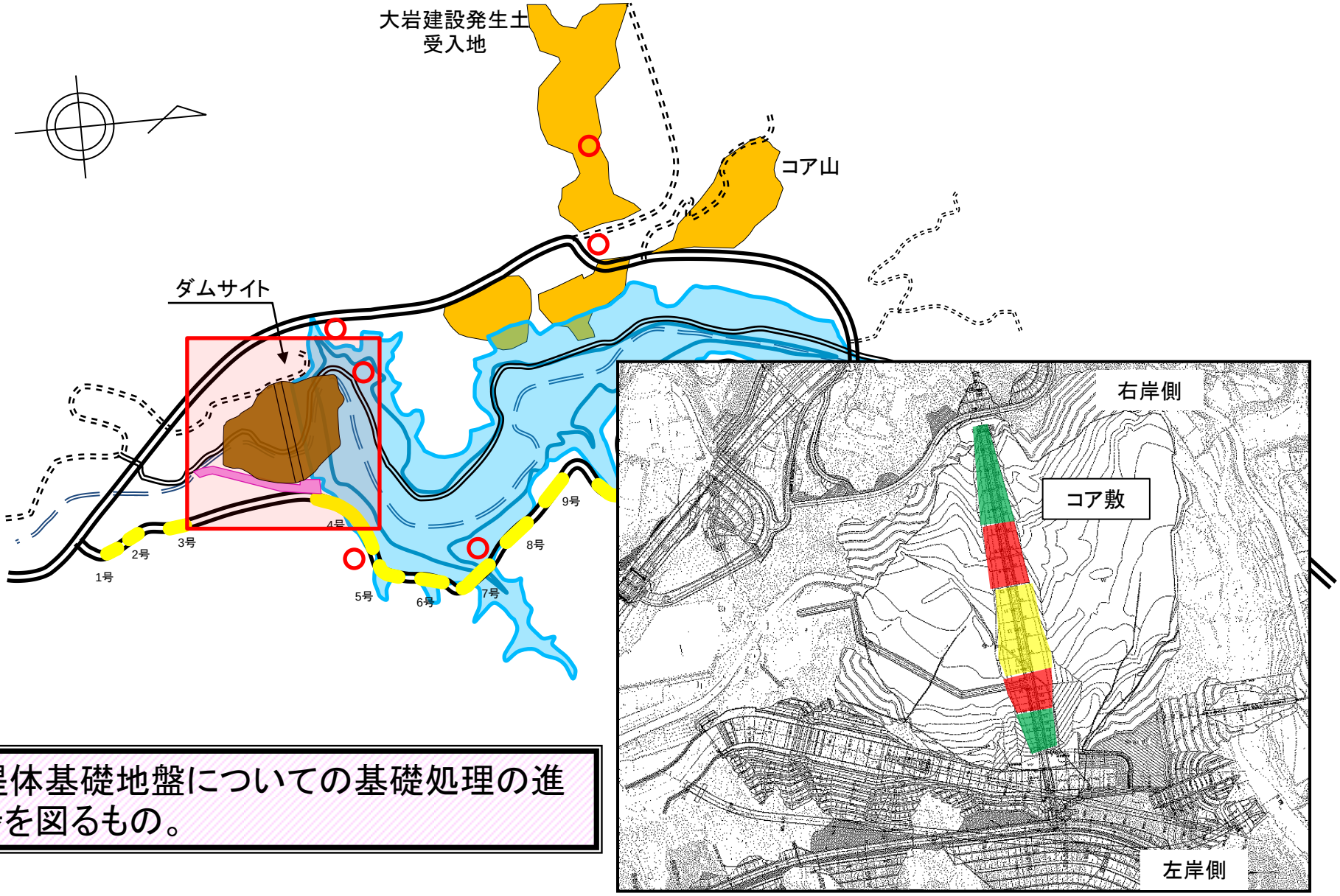
安威川ダム（堤体工）

・ダム堤体の盛立てを進捗するもの。

ダム標準断面図（上流側⇒下流側）

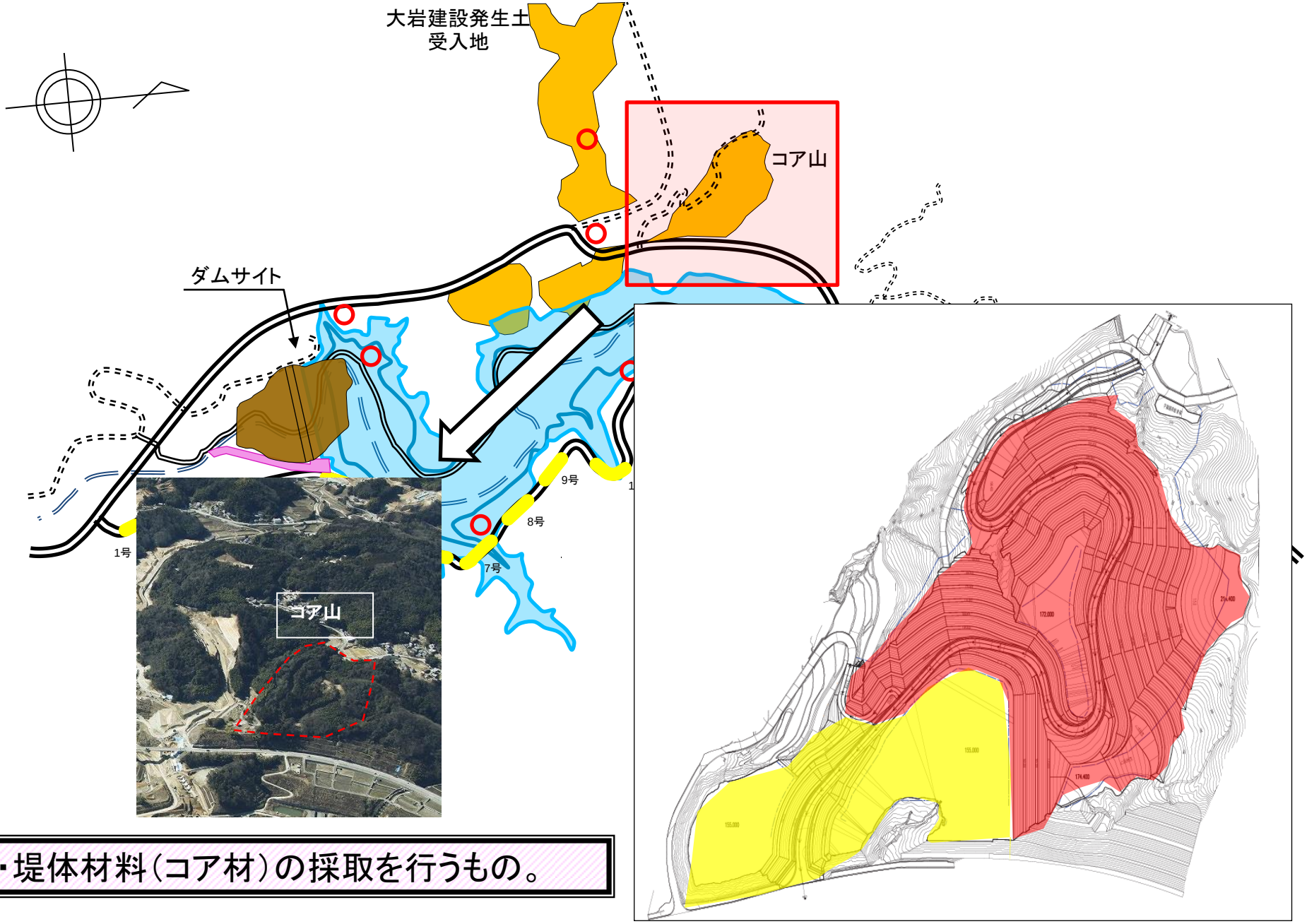


安威川ダム（基礎処理工）



・堤体基礎地盤についての基礎処理の進捗を図るもの。

安威川ダム（材料山工）



・堤体材料（コア材）の採取を行うもの。

安威川ダム（水文調査・モニタリング）1/2

[redacted]

・ダム湖周辺や下流域の環境保全を目的とした水文調査、モニタリング調査を実施するものである

安威川ダム（水文調査・モニタリング）2/2

■水文調査測定内容

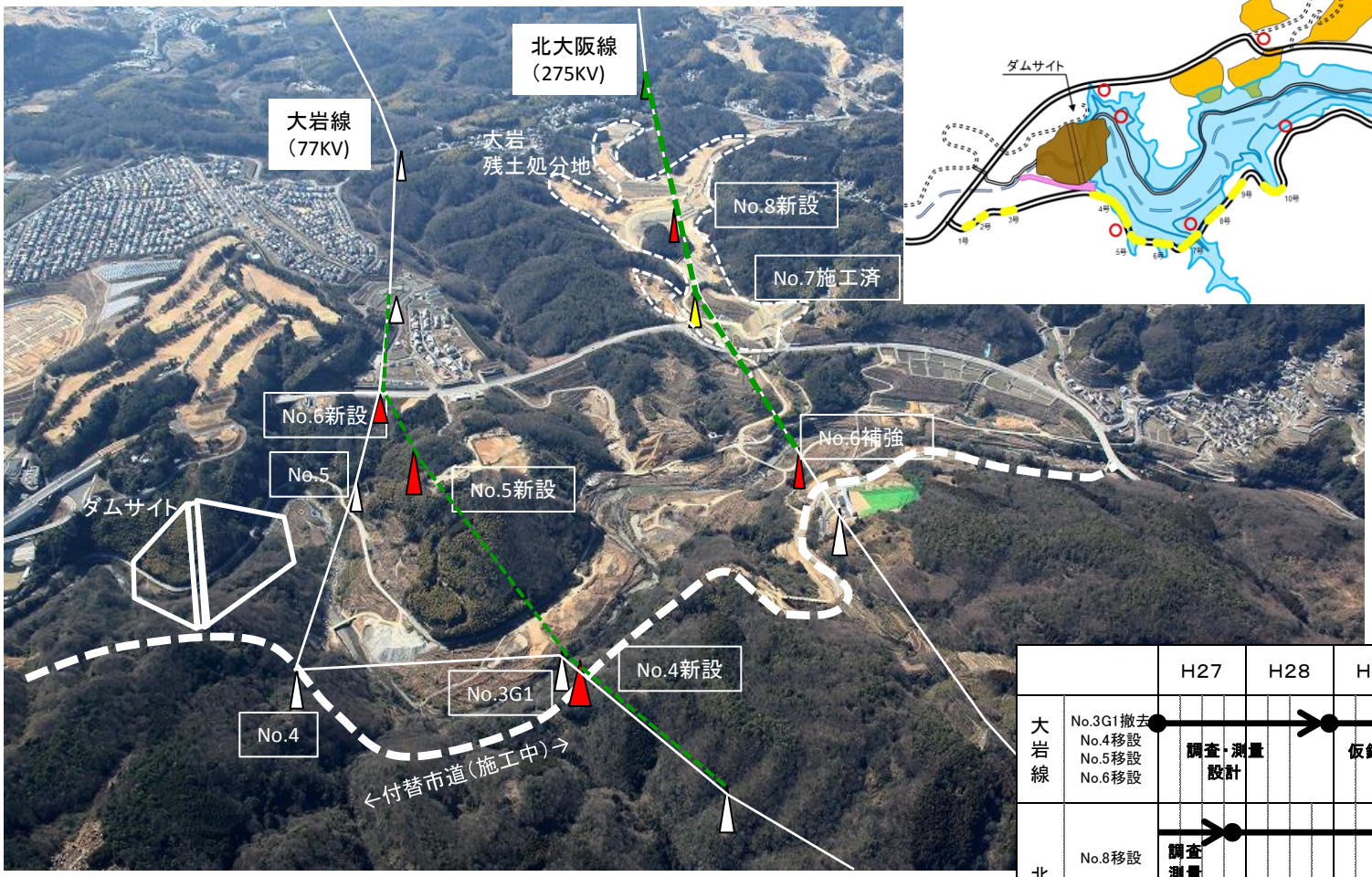
各地点で下記のうち必要な事項について測定

- 流量
- 水温
- 濁度
- 透視度
- 溶存酸素（DO）
- 水素イオン濃度（pH）
- 生物化学的酸素要求量（BOD）
- 化学的酸素要求量（COD）
- 浮遊物質量（SS）
- 全窒素
- 全りん
- 全亜鉛
- クロロフィル
- 溶解性CODMn
- りん酸性りん
- アンモニア性窒素
- 亜硝酸性窒素
- 硝酸性窒素
- 粒度分析試験(単位；回）
- 沈降試験（単位；回）
- カドミウム及びその化合物
- 鉛及びその化合物
- 六価クロム化合物
- 砒素及びその化合物
- 水銀及びｱﾙｷﾙ水銀その他の水銀化合物
- ふっ素及びその化合物
- ほう素及びその化合物
- セレン及びその化合物

■水文調査、モニタリング実施計画

環境要素	対象項目	調査項目等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水質	濁度、pH等	水文調査	定期的に実施											
生物	魚類	潜水目視調査												
		採取調査												
	底生生物	工事着手前調査	必要時期に実施											
		左岸ビオトープ調査												
	植物	工事着手前調査	必要時期に実施											
		左岸ビオトープ調査												
		移植植物・注目種調査												
	鳥類	猛禽類調査												
		フクロウ類調査												
		カワガラス・ヤマセミ・カワセミ調査												
	陸上昆虫類	工事着手前調査	必要時期に実施											
	昆虫類・両生類	工事着手前調査	必要時期に実施											
		左岸ビオトープ調査												
		オオサンショウウオ調査												

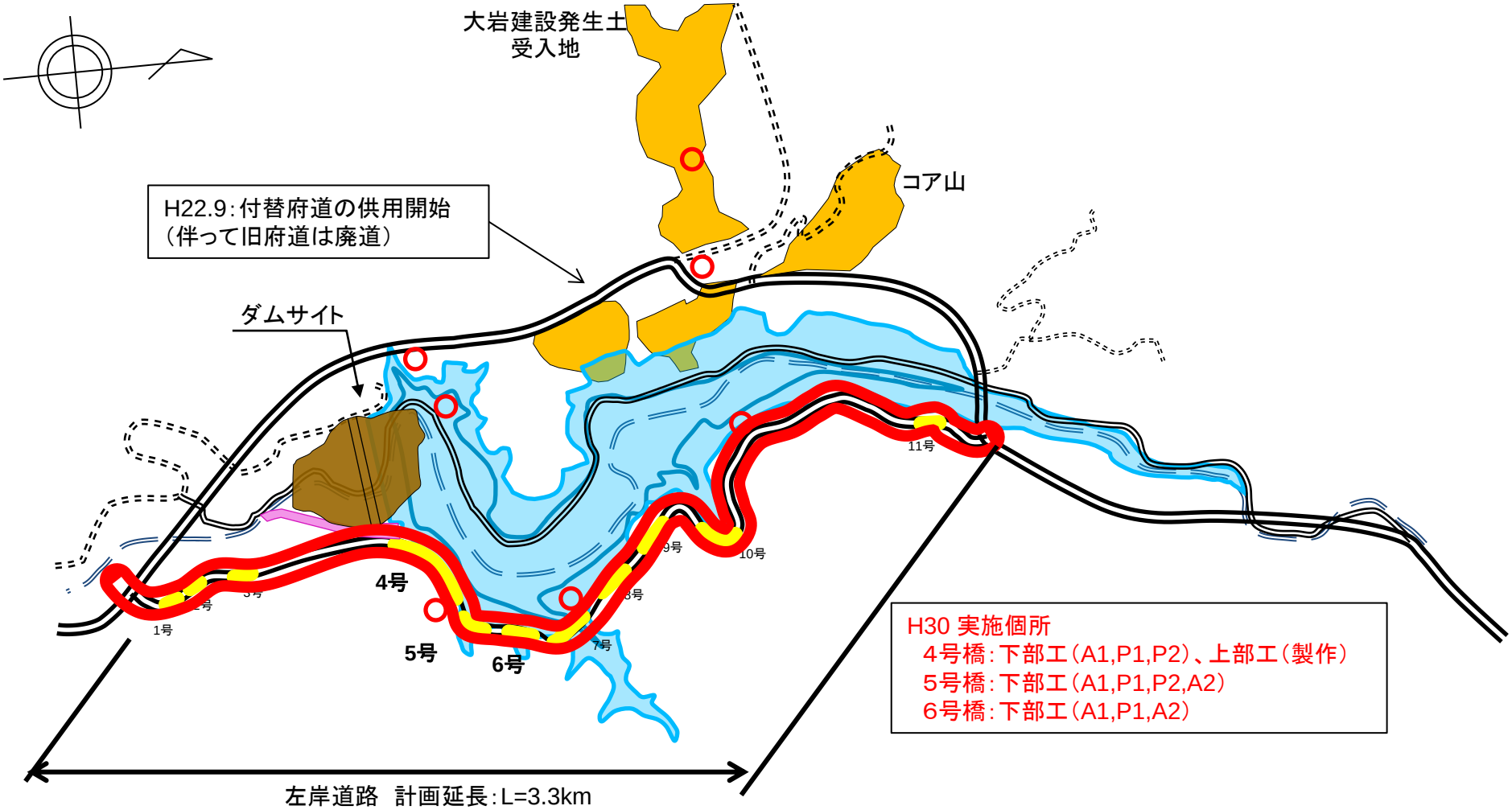
安威川ダム（特殊補償）



		H27	H28	H29	H30	H31	H32
大岩線	No.3G1撤去 No.4移設 No.5移設 No.6移設	調査・測量 設計		仮鉄塔・新鉄塔工事			
北大阪線	No.8移設	調査 測量 設計			仮鉄塔・新鉄塔 補強工事		
	No.6補強	調査 測量 設計	補強工事				

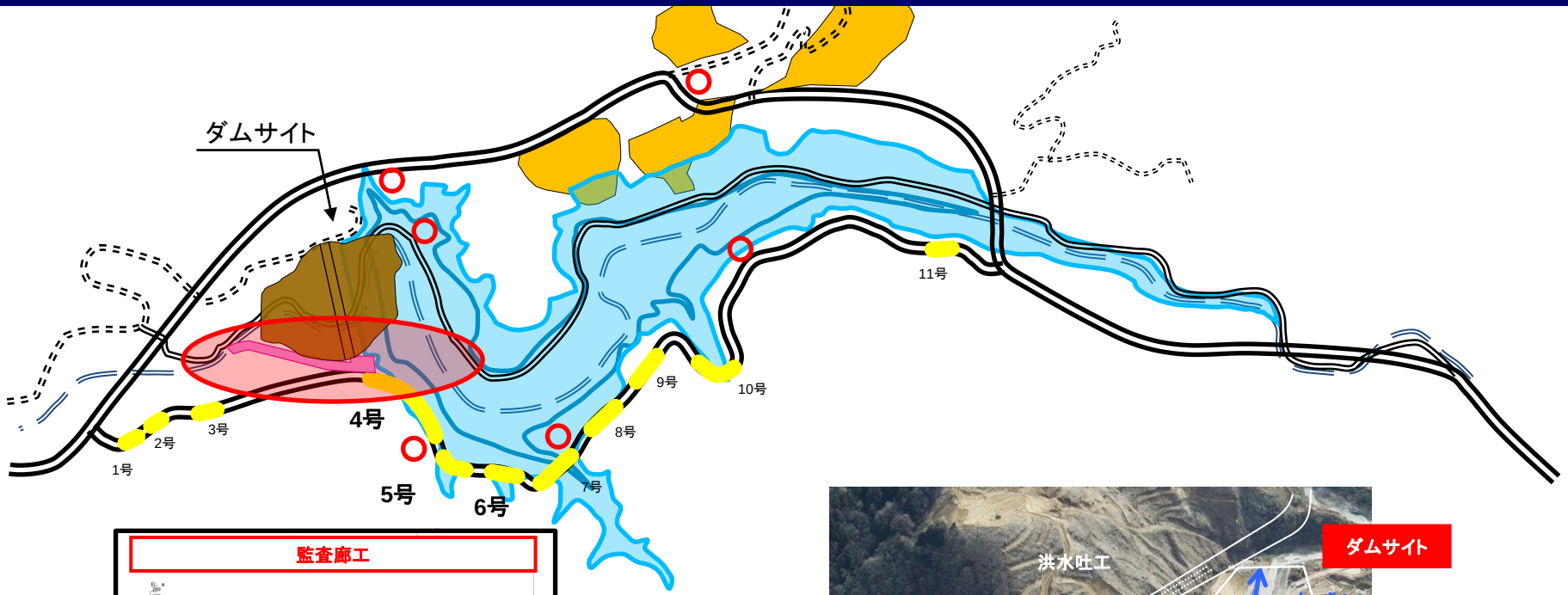
・ダム建設の支障となる電線鉄塔についての移設等の補償の推進を図るもの。

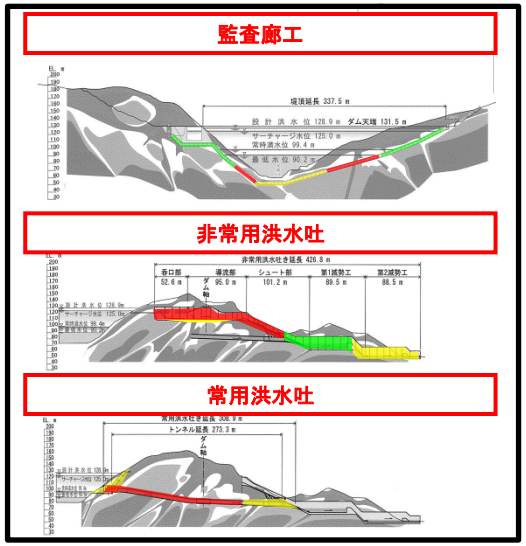
安威川ダム（左岸道路）

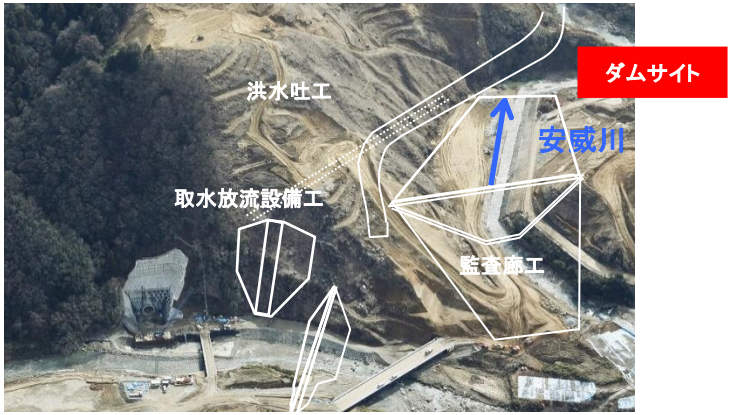


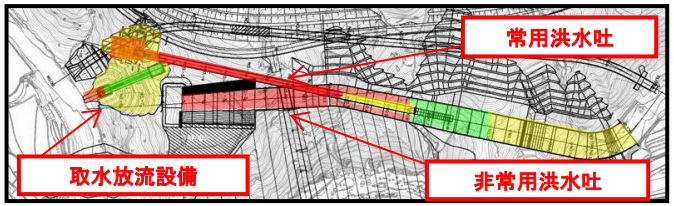
・H22年9月に付替府道を供用開始したことに伴い、旧府道を廃道した。左岸側へのアクセスは、旧府道から分岐する市道が3路線存在する。旧府道の廃道後も左岸側へのアクセスを確保する必要があるため、生活再建対策として左岸道路の事業進捗を図るもの。

安威川ダム（監査廊・洪水吐き・取水放流設備）









・監査廊、洪水吐き、取水放流設備の進捗を図るもの。